



2022年（令和4年）9月18日

はるかぜの会便り

KHJ群馬はるかぜの会 第71号

7月例会 DVD視聴&座談会「カンパニユラの夢」

2022.7.17

於：県社会福祉総合センター

DVD視聴会 「カンパニユラの夢」

「この作品は、二つの家族の視点で進行します。主人公の岸本麻帆はあることをきっかけに「ひきこもり」は誰にでも起こり得ることだと気づきます。

急速に高齢化が進む今、8050問題は誰にでも起こりうることを認識し、地域の人々がひきこもりなどの悩みを共有し偏見をなくすとともに、互いに助け合うことで地域共生社会の実現をめざす内容となっています。」

（参照：公益財団法人兵庫県人権啓発協会HP）

座談会 視聴後、4グループに分かれて座談会を行いました。これまで月例会で学んだことを通して、登場人物の良いところやできていることに注目しながら話し合ってみました。

- ① **良いところ・できているところ**
- ② **よりよくなるために工夫出来そうなこと**
- ③ **声をかけてあげたいこと** ④ **その他**
- ⑤ **地域共生社会を目指してできること、心がけること**
- ⑥ **感想**

登場人物

Kさん（41）主人公 喫茶店パート

- ① 周囲に自然に声掛けができています。うわさ話に流されない。
- ③ 「ほめてあげる（よくできている）よく頑張ったね」
- ④ Tさんとかかわりから、心に変化が現れた。娘に対して、初めは「ケガしたくらいで休むなんて」と叱咤激励していたが、「やりたいようにやっていいんだよ」と娘を理解して声をかけることができた。

Kさんの娘 高1（16）

- ① 母親に、自分の気持ち（「自分の居場所がない」等）を話せた。
- ③ 頑素直でいい子
「部活をやめても何とかなるよ。」

Hさん（45）喫茶店店主

- ① 自分の経験をもとに、困っている人を助けてあげたいと行動（居場所づくり）を起こした。
自分の生きてきたこと（経験）を自然に話している。気負いがいいこと。

Tさん（50）もう一人の主人公 20年以上自宅にこもっている

- ① 自発的に、家事（ゴミ出し、買い物、花の水やり）を行っている。
- ② 福祉サービスをもっと知る。
- ③ できていることがいっぱいあるということ。
- ④ 「ひきこもりオフ会」の情報を与えられたことで、本人がネットで調べ参加できるようになった。

Tさんの母（80）

- ① 息子を理解しようとして会話をしている。
- ② 第三者とつながりができること。
- ③ 一人で抱え込まずにもっと周りを頼りにしていい。
- ④ 息子に対していい言葉を掛けられている。

Tさんの父（80）

- ① 息子の役に立とうとして行動しようとしたところ。
- ② 息子に対して感情的に怒らない。
- ④ どうしてよいかわからず大声を出してしまった。

- ④ **地域共生社会を目指してできること、あったらいいなと思うこと**

地域の方の理解があるとよい。
近所どうして声かけができるといい。
第3者と一緒何かをする機会があるとよい。
当事者が集まれる居場所があるとよい。

- ⑤ **感想**

どんな家庭でも起こりうること。
親子の年齢が似ており、見習いたいと思った。
最後は理想的。グッとくる。あらためて、「誰かの役に立つ、必要とされることは大切」と感じた。
(DVD視聴会&座談会から)

10月例会 講演会「ぐんま若者サポートステーション 若者支援の取り組み」

～ 一歩踏み出すきっかけ作り ～

日 時： 10月16日（日）午後1：30～4：00

場 所： 群馬県社会福祉総合センター 7階 701会議室
前橋市新前橋町13-12（構内・構外専用駐車場 / 無料）

講 師： ぐんま若者サポートステーション 総括コーディネーター

唐沢 文彦 氏

対 象： 関心のある方

定 員： 感染防止対策定員31名（先着順、予約制）

* 会員の方も、事前に参加不参加のご予定を下記までお知らせください。
* ご参加の際は、体調を整え、不織布マスク、手指消毒、検温等感染対策にご協力をお願いいたします。

はるかぜの会 参加申し込み お問い合わせ

☎ 090-2916-0346
✉ harukazenokai.gunma@gmail.com

〈その他 お問い合わせ〉

KHJ全国ひきこもり家族会連合会本部事務局

☎ 03-5944-5250 ☎ <http://www.khj-h.com>

